



市議会だより

令和 7 年
第 1 回定例会
第291号

令和7年(2025年)
4月22日発行



小金井市議会議員選挙開票の様子（3月23日、小金井市総合体育館）

一般会計 当初予算を可決

優先整備路線に係る総合的判断を市長報告／直後に撤回

市長に対し出処進退を明らかにすることを求める決議を可決

第1回定例会の概要

令和7年第1回定例会（宮下誠議長）は、1月24日に開会し、3月6日に閉会しました。

令和7年度一般会計予算を可決

令和7年度一般会計予算は、総額が前年度比約3・2%の減少となる、歳入歳出それぞれ54億円を提案されました。

審査に当たり、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会（渡辺ふき子委員長）に付託し、7日間に及ぶ審査を行いました。

3月6日の本会議では、組替え動議が提出され、否決した後、原案について採決を行い、起立採決の結果、原案のとおり可決しました。（詳細は2面に掲載）

なお、一般会計以外の国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別会計及び下水道事業会計については、原案のとおり可決しました。

優先整備路線の検証及び総合的判断に係る市長報告

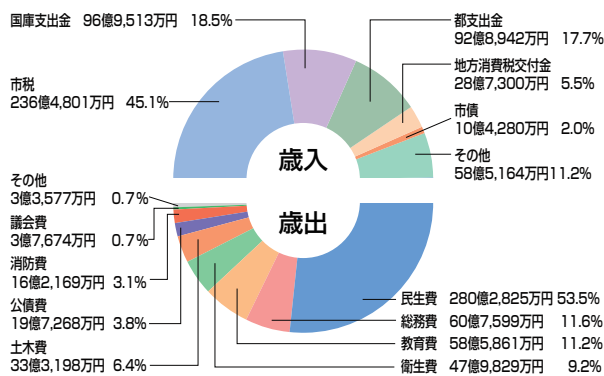
2月17日の本会議において、市長から、優先整備路線の検証及び総合的判断について報告がありました。

本報告は、小金井都市計画道路3・4・11号線については、検証報告書を踏まえると必要性を否定できないが、自然環境保護の観点から課題が残るため、環境に対する影響の低減に向けた橋梁の設計内容について見直しを求める必要があること、また、都市計画道路3・4・1号線については、構造による具体的な動植物等への影響が不明のため判断することが困難であるが、国分寺崖線（はけ）への影響が明らかであるため、事業化の手続きは一旦中止することが妥当であるとしたものです。

6面に、白井市長就任後の優先整備路線問題に係るこれまでの経過を掲載しております。

一般会計 予算額524億円

※金額は、千円の位を四捨五入しています。



令和7年第1回 定例会日誌

【1月】

24日 本会議（議案の審議・採決、令和7年度施政方針）

28日 本会議（令和7年度施政方針の質疑、議案の審議、委員会付託）

29日 本会議（議案の審議・委員会付託）

31日 本会議（一般質問）

【2月】

3日 本会議（一般質問）

4日 本会議（一般質問、議員提出議案の審議・採決、陳情の委員会付託）

5日 議会運営委員会

10日 厚生文教委員会

12日 建設環境委員会

13日 総務企画委員会

17日 本会議（議案の審議・委員会付託、市長報告）

18日 予算特別委員会

19日 予算特別委員会

20日 予算特別委員会

21日 予算特別委員会

26日 予算特別委員会

27日 庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

28日 行財政改革推進調査特別委員会

3日 建設環境委員会

4日 総務企画委員会

6日 本会議（市長報告の撤回）

6日 予算特別委員会
本会議（委員会付託案件の採決、議案の審議・採決、議員提出議案の審議・採決）



審議した主な議案

令和 7 年度 一般会計予算

1月29日の本会議において、予算特別委員会（渡辺ふき子委員長）に付託し、2月18日、19日、20日、21日、26日、27日及び3月4日の計7回にわたり審査を行いました。

歳出予算の主な内容は、インクルーシブデザインに配慮した遊び場等を整備することで、共生社会を実現するための費用を含む都市公園等の整備に要する経費（9千88万7千円）、新庁舎（仮称）新福祉会館におけるICT整備計画を円滑かつ確実に進めるため、庁内ネットワーク・LAN整備を中心としてICT整備の全般的な再点検を行うための費用を含む内部情報システムに要する経費（5億4千14万3千円）、市公式ホームページの使いにくさ等の課題を解決するため、デザイン及び機能をリニューアルし、効果的な情報提供を行うための費用を含む広報活動に要する経費（8千420万6千円）などです。

賛成討論（要旨）

五十嵐京子（自民党・信頼）

物価高や人件費等の高騰は市政にも影響し、新庁舎（仮称）新福祉会館建設工事の入札不調など厳しい状況であるが、物価対策、将来に向けた行財政改革、市民の健康や安全安心を守る重要な予算である。

以前より、要望してきた職員の勤怠管理システム、避難所トイレ等の備蓄の充実、武蔵小金井駅北口駅前東地区の再開発事業、熱中症対策、民設民営学童保育所増の補助金等評価すべき点も多い。

しかし、小金井市立保育園の在り方検討委員会における委員の辞職や、優先整備路線に関する市長報告撤回のようなことは二度とないよう強く求める。

反対討論（要旨）

渡辺大三（子どもの権利）

①違法、無効との判決が確定している市立保育園2園の廃園

税の増税など暮らしに冷たい予算だからである。当会派の予算組替え動議で提案した緊急対策を含めた支援策を求める。第2に、庁舎等建設が入札不調となった。コストダウンと市民の声を反映した計画変更を行うべきである。第3に、公立保育園の廃園計画が進む状況だからである。第4に、学童保育所や集会施設等の修繕予算が不十分である。

そして、市長が都市計画道路に関する公約及び、市長報告を撤回した。市長と多くの市民・議会との信頼関係が失われる事態である。以上反対する。

賛成討論（要旨）

岸田正義（みらい）

我が会派が要望してきたことが多く含まれており評価できる一方で、複数の会派から何度も指摘されてきた事業構築の熟度の低さと提案姿勢の軽さが一向に改善されていない点は甚だ遺憾であり、それが顕著に表れたのが市長報告の撤回である。曖昧な市長答弁で議会が紛糾した1年前に我々はこうなる未来を予測して中途半端な独自検証ではなく予算や時間をかけるべきと提案し何度も警鐘を鳴らしたにも関わらず検証を強行し、東京都に根拠を示すどころか前代未聞の白紙撤回という無用な混乱を引き起こし、職員に無用の努力と労力を強いた市長の責任は重く、猛省と改善を求める。

反対討論（要旨）

斎藤康夫（参政党）

反対の理由の第一は、多くの専門家が安全性に警鐘を鳴らす新型コロナウイルスに対するレプリコンを含むmRNAワクチンを市民が選択できる予算が含まれている。

第二は、小金井市役所が保管している、戸籍をはじめ住民基本台帳、印鑑登録、土地家屋等の資産状況、健康保険、年金及び福祉関連情報等の個人情報データをアメリカ民間企業に預けるガバメントクラウドの予算が含まれている。

第三は、東京都の補助金である、昭和56年から平成12年までに新築された木造家屋の耐震診断の予算が計上されていないことである。以上から反対する。

賛成討論（要旨）

水谷たかこ（こがおも）

主な理由は、提案してきた政策の多くが盛り込まれ、住民福祉の向上が期待できることだ。市民の念願だった市公式ホームページのリニューアルを始め、インクルーシブに配慮した遊び場の整備、アウトリーチもできる産後ケアの充実、図書館での託児、オンライン決済や電子契約、勤怠管理システムの導入等のDX推進も評価できる。

しかし、学童保育の大規模化、市立保育園条例の改正、新庁舎等建設等、課題は山積している。市長報告の撤回は、プロセスの不備を厳しく指摘せざるを得ない。猛省の上、庁内一丸となって意識改革と課題解決、信頼回復に努めるよう強く求める。

賛成討論（要旨）

安田けいこ（生活者ネット）

優先整備路線2路線に関する市長報告に関し、市長の政治姿勢と今後の市政運営への影響を懸念するが、市民生活に必要な事業の予算として、賛成する。障がいのある子もない子も遊べるインクルーシブな公園作りの取組を評価し、保育園や学校等に広がることを期待するが、環境配慮から整備の際、人工芝を

使用しないことを求める。市民の健康を守る取組は不十分。他市はPFAS汚染への独自対策を行うが、本市は都や国の動向を注視のみである。また、HPVワクチン被害者の現状把握も行わず、積極的勧奨を進めることは罪深い。デメリットの周知を強化すべき。

賛成討論（要旨）

坂井えつ子（緑・つながる）

小金井市の積年の課題である新庁舎等建設事業は、2月18日までに工事事業者の申込みがなかったため、議決した予算の範囲内で再公告を行うこととなった。議会の議決も経て進めてきた本事業は、小金井市として着実に進めていくべきである。また、気候危機対策に要する取組が強化されていることは評価する。今定例会で、小金井市では初めて、市長報告を撤回する事態となった。市長報告そのものの及び市議会を軽んじるものであり、市長としての資質に欠ける行為で、信頼関係のない市長が提案する予算には賛成しがたいが、市民生活への影響等を鑑み、予算には賛成する。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

1月29日の本会議において厚生文教委員会（吹春やすたか委員長）に付託し、2月10日に審査を行いました。

本条例は、国民健康保険事業の円滑な財政運営を確保するため、国民健康保険税額の改定を行うものです。

2月10日の委員会では起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

3月6日の本会議では、起立

採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

反対討論（要旨）

たゆ久貴（日本共産党）

改定内容は、合計で1・3億円の市民負担増であり、1人当たり6千700円の値上げである。小金井市の国保税は長らく多摩26市で1番高かった。この間税率改定の値上げはしていなくて良かったが、再度の値上げは問題である。一般会計からの法定外繰入れを減らしていることが問題である。この方針を改めるべきである。物価高騰の中、国保税の値上げは加入者の暮らしをさらに大変にする。国保は加入者の負担だけでは制度を維持できない構造的な問題を抱えている。国や東京都に財政支援を求めるものであるが、それがかなわらない状況において市が負担軽減に努力するべきである。



世界で唯一の戦争被爆国として、核廃絶に向けて主導的な役割を果たすことを求める意見書

反対討論（要旨）

清水がく（街の仲間たち）

我々は唯一の戦争被爆国として、核軍縮に向けた不断の努力を重ねていかなければならぬが、我が国のインド太平洋地域における安全保障の課題である北朝鮮、中国、ロシアといった不安定要因を抱えており、日本は安全保障を究極的に米国の核の傘に依存するという現実から目をそらすことはできない。そのため、日本政府は国民の生命と財産を守る責務から、安全保障上の脅威に適切に対処するとともに、核保有を米英仏口中

の5か国のみに限る核拡散防止条約を通じて、地道に核軍縮を前進させる筋道を追求する必要がある、現実的な取組を粘り強く進めていくことが重要である。

優先整備路線2路線問題に係る市政の混乱を踏まえ、白井亨市長に対し、その責任を厳しく問うと同時に、自ら出处進退を明らかにすることを求める決議

賛成討論（要旨）

高木章成（子どもの権利）

白井市長は、もはやマニフェストを語る立場にないと考える。西岡前市長の負のレガシーから小金井市を立て直すことが期待された市長の公約の多くは、精彩を失い「サギフェスト」に成り果ててしまった。

私は当然、白井市長は不信任、辞職に値するものと考えてるが、二元代表制のもと議会は熟議を経て、より多数をもって意思表示することが、決議の政治的意義を高めることになると考えるに至った。

よって、白井亨市長は市長としての資質に著しく欠け、その職にふさわしくなく、辞職に値すべきものと断罪し、本決議案に賛成する。

お詫びと訂正

市議会だより290号（2月20日発行）の掲載内容に誤りがありました。お詫びして訂正します。7面「意見書・決議の審議結果」の最下段「新庁舎等建設について、市民要望に応え、抜本的な建築コスト削減を図るべく、抜本的な直しを求める決議【誤】：原案可決【正】：否決



議員が議案を審議・議決する以外に、市政全般にわたり、市長や行政機関などに対し、質問することができます。
市が行う事務の状況や将来に対する方針などについての質問をし、報告や説明を求めることをいいます。

議会 Q&A

Q 一般質問はいつ行われるの？

A 原則3月、6月、9月、12月の年4回の定例会で行います。

Q 質問時間はどのくらい？

A 1人1回おおむね1時間以内もしくは90分以内です。

Q 傍聴はできるの？

A だれでも傍聴できますので、議会事務局で傍聴の手続きをしてください。

一般質問

(4面～6面) 1月31日、2月3日、4日

※原稿は市長部局の答弁も含めて各議員が作成しています。

<2次元コードについて>

スマートフォン等で読み取ると、YouTubeでご覧いただくことができます。

会派の略称

(自民党・信頼)	自由民主党・信頼の小金井	(こ が お も)	小金井をおもしろくする会
(み ら い)	みらいのこがねい	(参 政 党)	参政党小金井
(子どもの権利)	子どもの権利を守る会	(生活者ネット)	生活者ネットワーク
(日 本 共 産 党)	日本共産党小金井市議団	(緑・つながる)	緑・つながる小金井
(公 明 党)	小金井市議会公明党	(街の仲間たち)	街の仲間たち

災害関連死を一人でも減らす施策の充実を！

吹春やすたか
(自民党・信頼)

調布市、府中市、小平市でトイレトレーラーの導入が進んでいる。小金井市でも導入は絶対に必要ではないか。マンホールトイレが市内の小学校・中学校での整備が完了してもトイレトレーラーは必要である。被災地ではトイレの確保は非常に困難である。そのことが気になりトイレの使用を控え、エコノミークラス症候群を発症してしまい、加えて震災に遭ったことで精神的に大きなダメージを受け、色々なことが重なり合っただけで報告されている。高価なトイレトレーラーを導入することで市民の震災被災時のトイレに対する危機意識の醸成に繋がるのではないかと。現行の普通免許で運転可能なトイレカーも存在する。トイレトレーラーかトイレカーの導入を検討しないか。

部長 トイレトレーラーは購入費、維持管理、保管場所など問題があり、引き続き研究課題としたい。小型のトイレカー導入もトイレ対策の一つと考えているが維持管理、保管場所とそれ以外の課題も存在する。大規模災害時におけるトイレ対策は大きな課題の一つである。本市にとってより効果的な対策について引き続き考えて行きたい。



商店街は「街のインフラ」だ！

清水がく
(街の仲間たち)

市内の商店街は「街の元気は商店街から」のスローガンを掲げ、街の活性化のために活動している。商店街は人と人をつなぐ、地域と人をつなぐ、人と団体をつなぐ、まさに商店街は「街のインフラ」としての役割を果たしていると考えられる。(ア)商店街の「役割」を市はどのように捉えているのか。(イ)商店街の活動を通して、商業が盛り上がりつつあるが、歳入の面では市の収入が増えるというメリットもあると考える。また、商店街や事業者が繁盛すれば、雇用の創出にもつながっていくはず。この循環が魅力ある小金井、住んでみたい小金井の実現に繋がっていくと考える。商店街への更なるサポートも必要。このような商店街の「取組」を市はどのように捉えているのか。

部長 (ア)商店街は地域振興、地域の祭り、防犯・防災活動等に取り組みされており、地域コミュニティの核として重要な役割を担っていると考える。(イ)商店街では商業的、観光的に魅力あるイベントなどを実施されており、様々な取組を実施されており、にぎわいをつくり、暮らしに楽しさ、訪れて楽しいと思える魅力を生み出しているものと考えている。



地域の安全・安心を守る防犯カメラ等の活用を

渡辺ふき子
(公明党)

① 犯罪から身近な地域と市民を守るために、市民全体の協力を得ながら推進する施策が必要。(ア)市内の犯罪等の現状。(イ)こきんちゃんあいつ運動の実施状況。(ウ)市民の防犯カメラや防犯用品購入に対し公費補助を。部長 (ア)1月から11月で強盗などの凶悪犯5件、暴行傷害31件、空き巣など侵入窃盗6件、自転車盗や万引きなど16件、詐欺など116件で累計62件と増加している。(イ)地域一体となつてこきんちゃんあいつ運動を継続することで、顔の見える関係をつくり、子どもの安全確保や地域の防犯意識の向上につなげたい。(ウ)都では間バイトによる強盗対策など個人宅での対策強化の補助金を予定している。都の動向を注視したい。

② ペット防災についての検討状況。(ア)市の総合防災訓練でのペット同行避難の実施状況。(イ)避難所運営協議会におけるペット同行避難の検討状況は。部長 (ア)同行避難訓練やボランティア団体との連携による意識啓発について獣医師会を中心に連携し機会を捉えて進めたい。(イ)各小中学校の避難所運営協議会の活動が活発でペットの生活場所等を決めているところもある。地域の方々の意見を聞きながら進めたい。



ホームドア早期設置を 带状疱疹ワクチン接種

小林正樹
(公明党)

① 皆様が日常的に利用される武蔵小金井駅、東小金井駅について、多くの声が寄せられている。(ア)JR中央線の電車の遅延が特に多くホームドア設置を望む声がとても多いが、小金井市内の2駅の設置についてはこれから2、3年が目途であると考えているかが。 (イ)市から要望書を提出していただけないか。(ウ)東小金井駅のホームで流れる発車メロディを小金井にゆかりの楽曲にとの要望がある。

部長 (ア)事業者から示されていないため答えられない。(イ)機会を捉えて市への情報共有を求め、なるべく早い設置を要望したい。(ウ)機会を捉えて、ご相談すること検討して参りたい。

② 新年度から国の定期接種が始まるが、先行している東京都独自の課題として①定期接種が始まる前の50歳から64歳までの方が対象となる。②5歳刻み年齢となるため、接種対象の年齢に達するまで最大4年を待つケースが生じるなどである。このようにサービスが低下することが考えられるが、任意接種も継続するべきではないか。

部長 東京都の補助事業が継続されるのかどうか判明され次第、ご意見等も踏まえ、庁内及び関係機関と協議のうえ決定したい。



公立保育園の在り方検討 委員会の進捗状況

五十嵐京子
(自民党・信頼)

11月に小金井市立保育園の在り方検討委員会の委員である民間保育園園長会から、公立が民間保育園より保育の質が高いという話合いには同席する意味がないという理由で、市長並びに正副委員長宛てに委員を辞任したいとの意見書が提出された。(ア)異常な状態である。どう受け止めているか。(イ)小金井で保育園に通う子どもたちの85%は民間園に通っている。中には公立保育園より長い歴史と経験ある保育士と様々なノウハウを持つ園もあり、その代表がないままに結論が出せるのか。(ウ)今後の対応は。

部長 (ア)委員会の目的は、市全体の保育の質の維持・向上であり、折に触れて説明をしているが、不十分な面があったと思う。(イ)保育の質は多面的であり、公民の差を論じることは難しく、そこに結論を求めるのは適切ではない、と説明をしているが、この事態になり申し訳なく思う。(ウ)答申を出すために民間保育園の状況や知見をいかすことが大切であり、改めてお詫び、ご説明をし、委員を出していただきたいと思う。

■その他、「社会を明るくする運動」を知っていたかどうかために市報掲載を、小長久保公園の暫定整備についてを質問しました。



小金井3・4・11号線の今後について

古畑俊男
(子どもの権利)

東京都が行った2度の道路概略検討は、共に橋りょう案が最適案であると結論付けた。その理由の一つが、地下案の場合は、地下水脈の枯渇のおそれと、工事施工時の野川の切り回しが必要とのことだが、野川の改変を伴う切り回しが必要なのか疑問がある。地域の環境に対する配慮と野球場の保全のためにスケールダウンをした地下案による工法が必要と考える。(ア)今回、東京都の検討結果も踏まえて、市独自の検証が行われたが、検証結果は、橋りょう案を前提とした理由は。(イ)現在まで何度か披瀝しているが、送電線が支障物件となる。地下案ならば移設が不要となる可能性がある。どう考えるか。(ウ)橋りょう案で整備が進んだ場合、野球場の西側1面が使用できなくなるが、どう考えるか。

部長 (ア)東京都が橋りょう案で事業を検討していることから、市の検証においても橋りょうを前提に実施することが妥当であると考える。(イ)橋りょう工法による整備は、送電線対策が必要になるとの指摘だが、対策の方法は、東京都が検討するものとする。(ウ)市の2次検証資料編では、野球場の一部利用不可を指摘している。代替軽減策の再整備を図ることが考えられる。



会議録が早くご覧になれるよう、未定稿（校正中）を公開しています。

<http://www.city.koganei.tokyo.dbsr.jp/>



障がい者への「交通手当」の検討課題について

高木章成

(子どもの権利)

① 障害者の権利条約は、移動の自由と移動を容易にすることを保障しており、障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例第9条にも類似の規定。権利を具現化する施策でタクシー・ガソリン代を助成。以前はタクシークーポン券の事前支給。2009年に領収書を添付する後払いに。(ア)助成実績と課題は。(イ)事前支給の交通手当導入がなぜ見送りとなったのか。(ウ)手当化で減額となることはないか。(エ)領収書による申請への支援は。

部長 (ア)400人が利用。利用者の領収書の保管が課題。(ウ)領収書保管の負担がなくなる。(エ)領収書確認は不可欠でご理解いただきたい。

市長 (イ)単価をどのように設定するか悩ましい。

② コスモズによる補助金不適正事案の根っこは27年前の福祉事業団体からの補助金疑惑の百条調査にある。(ア)補助金等を執行停止にする考えはないか。(イ)再発を防げなかったのか。

部長 (ア)特別指導検査を受け3か月分を一部不交付。

市長 (イ)不正の疑いが強い。今回あった事案をしつかり受け止めたい。

■ その他、市長の選挙公約について質問しました。



戦後80年平和の取組を市民協働で進めよう

坂井えつ子

(緑・つながる)

① 戦争体験者登録実施要領について。(ア)制度登録者は何名か。(イ)ご存命の方は何名か。(ウ)事業実績は。(エ)要領では、平和推進事業を実施する機関、団体等からの依頼があれば講演者として紹介することがあるとしている。事業実績は。(オ)本制度は市民に対して周知しているのか。(カ)周知をしていないと、申し込みもない。どう捉えているのか。

部長 (ア)13人。ほとんどの方が90歳を超える。(イ)8人。(ウ)小金井平和の日記念行事で戦争体験をお話しいただいた。ご高齢で必ずしも会場に来ていただける

とは限らないことを懸念している。(エ)ない。(オ)制度活用周知等は行っていない。(カ)反省している。

② 協働事業提案制度に選定された小金井平和の日制定10周年記念・こがねいデジタル平和資料館について。(ア)取組の評価は。(イ)戦争体験の映像化は、市が取り組むべき事業であると考ええる。

部長 (ア)平和事業における課題を解決する一助となる。動画等の記録を今後の平和事業へ活用するなど次世代につなげるよう取り組みたい。

市長 (イ)戦争を知らない世代への働きかけは我々が行うべきであると思う。提案として受け止める。



ガバメントクラウドは一時凍結すべきである

斎藤康夫

(参政党)

先に結論を述べる。自治体データの標準化には反対ではないが、ガバメントクラウド(以下「ガバクラ」という。)として私たちの戸籍、住民基本台帳、税、年金等の個人情報データを海外民間企業に委託することには反対である。国営企業を設立するか、国内企業が準備できるまで一時凍結すべきである。

これは日本崩壊の最初の一步なのか最後の一步なのかわからないが、この災を契機に、国民が政治に目覚め、日本の将来を考えるきっかけになることを望む。(ア)ガバクラとは何か。(イ)利

用団体の範囲はどこまでなのか。(ウ)小金井市の準備状況はどうなっているか。

部長 (ア)ガバクラとは、従来は使用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトをネットワーク経由で利用者に提供するサービス。(イ)地方公共団体がガバクラを利用することとは、努力義務とされている。広域連合、一部事務組合、独立行政法人、特殊法人、日本銀行、NHK等も対象となる。(ウ)日野市、三鷹市、立川市と本市で構成している東京自治体クラウドとして、オラクルクラウドインフラストラクチャーに2月3日から接続開始をした。



住宅施策の充実を／防災の取組の充実を

たゆ久貴

(日本共産党)

この間、小金井市は居住支援協議会を発足させ、相談窓口も設置し、後に体制の強化なども行ってきた。これらについては私も要求してきたことであり、本当に良かった。今後は更なる充実を、住居に困窮する市民を生み出さないよう、「住まいは人権」の立場で住宅施策の充実を求める。(ア)住宅セーフティネットの補助制度の利用につながる取組が必要ではないか。(イ)住宅確保要配慮者、高齢者や障がい者、子育て世帯、外国人、生活困窮世帯、また、学生も含めて家賃助成制度が必要ではないか。(ウ)市内

の公営住宅の状況は貧しい。市営住宅や高齢者住宅を、新規建設やそれが厳しい場合は民間の物件を借り上げる方法など含めて、拡充していくべきではないか。

部長 (ア)居住支援協議会で国土交通省や東京都の職員から制度の説明いただいた。今後も周知を継続していく。(イ)まずは家賃低廉化補助制度やその他のための専用住宅のメロッド等周知を継続していく。(ウ)市営住宅及び高齢者住宅については、適切な維持管理、運営に努めていく。今後の公営住宅の在り方について検討が必要である。

■ その他、防災・減災の取組の充実を求めました。



闇バイトへの警鐘／早期のホームドア設置を

遠藤百合子

(自民党・信頼)

① 令和6年国分寺市・三鷹市で闇バイトに関連した事件が発生し、防犯意識の高揚の必要性を感じたところ。(ア)闇バイト防止の広報。(イ)小金井警察署との連携。(ウ)被害者にならないために。

部長 (ア)市ホームページ、こがねい安全・安心メール、市公式LINE、ポスターの広報掲示板や市施設への掲示、CoCoパトロール隊の車両12台にマグネットステッカーを掲示し広報活動に協力している。(イ)警察署が犯罪・犯罪注意情報発信した際、即時情報発信している。(ウ)警察署と一層の連携を図り、各種イベント

や講座など、機会を捉えて周知啓発する。

② 命を守るホームドアの整備をする必要がある。早急にJR東日本に求めていかなければ。

部長 機会を捉え、なるべく早い設置を求めたい。

③ 公民館・集会施設の和室の上がり口、靴を脱ぐ所への手すりの設置がほとんどされていない。三葉集会所には過日、市民要望により設置が実現した。他の市施設へ手すりの設置を。

部長 和室のある16施設のうち、設置は2か所のみ。利用者からの要望があれば検討する。

■ その他、環境楽習館を質問しました。



高齢者支援と介護保険制度の充実を求める

水上洋志

(日本共産党)

① 一人暮らし高齢者を含めた高齢者支援、介護の問題を質問する。(ア)高齢者の見守り支援について、必要とする高齢者の把握のために年1回のアンケート調査を行わないか。(イ)ICTを活用した見守りについて、他市のように見守りサービス機器への助成を実施しないか。(ウ)見守りボランティアを数百名組織している市もあり、見守りの活動員を増やすことが必要である。現状の課題は何か。(エ)一人暮らし高齢者など「買い物難民」への対策として、スーパーなどと連携した移動販売車の運行を検討しては

しい。(オ)地域区分の見直しにより介護保険料や利用料に影響が出る可能性がある。国に財政措置を求めるべきである。

部長 (ア)日常的な把握は課題である。(イ)ハローライト電球を利用した見守り支援の検討を進めている。(ウ)活動員の担い手が確保できないことが課題。(エ)研究課題とした。(オ)被保険者の過剰な負担にならないよう国に要望する。

② 都市計画道路・市施行路線の選定に当たり、住民合意を得る努力を求める。

市長 どういうプロセスや理屈で選定されたかを説明できるようにしたい。



前原小校庭トイレ修繕／定数条例上程時期は

河野麻美

(自民党・信頼)

① 近年学校は地域活動が活発になる地域コミュニティの拠点としての役割も担っている。(ア)地域団体から前原小校庭トイレの水流が悪く利用ができず不便しているという。修繕状況は。(イ)学校関係者不在時、施設不備等の伝達方法、利用団体の担当者は替わることもあり施設利用規則の周知方法に情報の即時性を高めるためDX化も検討しないか。

部長 (ア)現状確認の上、修繕実施。(イ)校庭開放日誌を活用。運用変更の際は各団体に説明している。今後ネットワーク強化に努める。

② 今後、人口減少社会により自治体も新規採用が困難になり得る。民にできることは民にとり分けて行政運営することを求める。(ア)一昨年度員管理計画策定後早い時期に定数条例を上程するとの答弁があったが進捗状況は。(イ)現在欠員が出ている職場での対応方法は。(ウ)行革やアウトソーシングする自治体が多くを占め賃金上昇も続く中、令和7年度の新規採用方針は。

部長 (ア)平成30年に上程し否決された時と欠員についての考えが変わらず緊急性がないと判断し現在保留。(イ)会計年度任用職を配置。(ウ)退職者分の補充を目的とし採用。



交通事故を未然に防ぐ施策の充実を図るべき

渡辺大三

(子どもの権利)

最近、小金井市で死亡事故を含む交通事故が相次いで。市民の不安の声を受け止め、未然に対策を講じる必要がある。(ア)専門家の知見も活用しながら、交差点、主要な道路、生活道路、通学路の安全診断を行って個別カルテを作成することを提案する。また、カルテで優先順位が高い、危険性が高いところから順次改善していただきたい。ご所見を伺う。(イ)死亡事故が起きたドン・キホーテ前の交差点。自動車が行き止まりに侵入できないよう措置が必要。小金井警察署との協議の進展は。(ウ)前原坂上交差点。車がガードレールをなぎ倒した。より強度の強いものに直す必要がある。(エ)武蔵小金井駅南口の蛇の目通り商店会の入口。ガードレールもボラードもない。(オ)東小金井駅南口からピーコックストアに抜ける双方方向の路地。東大通りのところからカーブミラーがない。

部長 (ア)他市の事例等も含めて研究。(イ)地下埋設物を確認し、設置可能であれば、ボラードを1基設置。(ウ)管理者は東京都。意見は都に伝える。(エ)地下埋設物を確認し、可能であれば、小金井警察署と協議して設置。(オ)現地の状況を確認し、何かしら対策ができないか考える。



畑を子どもの居場所に はけの自然と文化とは

安田けいこ
(生活者ネット)



①のびゆく子どもプラン
小金井の素案に子ども・若者の居場所と交流の場の充実が挙げられている。市内では、わくわく都民農園の子ども農園や南小学校でのエディブルスクールヤードの取組など農地や菜園などが子どもの活動の場になっている例がある。子どもの居場所として畑や農地、菜園などを活用し、居場所として位置付けてはどうか。

部長 子ども居場所には子どもを迎え入れる担い手が必要。畑・農地の意義を今後の事業にいかしたい。

②国分寺崖線（はけ）に代表されるみどりと水に恵



武蔵野公園には野川を分断する都道計画がある



寄り添い型の居住支援 野川とはけを守るために



片山かおる
(子どもの権利)



①今後の居住支援の在り方と空き家活用の考え方を問う。(ア)一時住宅が必要ではないか。みなし公営住宅の検討は。住宅政策全体の見直しを。(イ)市民からの空き家活用の相談は。

部長 (ア)市営住宅の空きがない。様々なニーズや法改正により今後の公的住宅政策の在り方の検討が必要。来年度、検討を始める。(イ)協力不動産事業者や物件の所有者を登録して紹介する仕組みの構築を検討。

②(ア)市の方針として水と緑の保全の優先順位はどのような位置付けか。(イ)気候危機対策として、野川や武

物価高騰から暮らし・営業を守る電気代等補助を

森戸よう子
(日本共産党)



①物価高騰は、人災だと言わざるを得ないほど厳しい状況である。国の交付金、基金廃止の財源で、(ア)自営業者の電気・ガス代を補助しないか。(イ)一人暮らし高齢者、高齢者世帯への電気・ガス代の補助をしないか。(ウ)お米券を緊急配布しないか。

市長 悩んでいる。様々な検討をしたい。

部長 (ア)国等の動向を注視する必要がある。研究課題としたい。(イ)貴重な意見として承る。(ウ)研究課題としたい。

②東小金井駅南口には民間の駐輪場だけで、駅を越えて西口を利用しなければ

ならない。(ア)南口に自転車駐輪場を設置しないか。(イ)民間の駐輪場の利用料金が上がっている。負担を軽減しないか。

部長 (ア)設置する予定はない。(イ)駅前の混雑緩和などの検討が必要であり、具体的な答弁は控えさせていただきます。

③障がい者の支援施設は、待ったなしの課題である。土地の確保などを含め早期に建設すべきではないか。

部長 現在、地域自立支援協議会で市民アンケートを実施し、施設の具体的な機能について協議している。

市長 土地の確保について計画に基づき必要な面積をできる限り早く確保する。



4 月 4 日で審議未了となる案件

常任委員会及び議会運営委員会の案件は、4 月 4 日に議員の任期が満了したことに伴い廃案となり、各特別委員会の調査は特別委員会とともに消滅しました。

総務企画委員会

▶男女平等基本条例の理念を尊重し、小金井市の事業や後援を適切に行うことを求める陳情書 ▶ふるさと納税返礼品から「特定外来生物被害防止基本方針」に収録のある生物種の排除を求める陳情書 ▶ふるさと納税返礼品指定体制の改善を求める陳情書 ▶市民と共に「いじめ」「自殺」「児童虐待」「犯罪」等を減らす取り組みに関する陳情書

議会運営委員会

▶①次期定例会（臨時会を含む。）の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査③議会運営に関する議長の諮問事項について

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

▶小金井市の新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設に関する現行案の構造的差別を無視した計画の推進の再考を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設に関する住民投票条例について議員が行った反対討論等に関する陳情書（同一表題で内容が異なるものが他 8 件）▶小金井市の新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設に関する財政の規律性の保持について考えを問う陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設に関して現行案と見直し案に対する現在の議員の考え方の確認を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設に関する住民投票条例について議員が行ったご発言等に関する陳情書 ▶新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設に関する陳情者の議員諸氏への質疑（昨年 1 2 月 1 3 日の特別委員会）の回答を求める陳情書 1 ▶新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設に関する陳情者の議員諸氏への質疑（昨年 1 2 月 1 3 日の特別委員会）の回答を求める陳情書 2 ▶新庁舎及び（仮称）新福祉会館の建設に関する工事入札公告の実施時期・期限及び VE 提案及びその範囲の緩和に関する陳情書 ▶庁舎等建設及び公共施設マネジメントの推進に係る諸問題の調査

行財政改革推進調査特別委員会

▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査

都市計画道路 3・4・1 号線、 3・4・11 号線に係る経過

白井亨氏が市長に初当選（令和 4 年 1 1 月）



令和 5 年度施政方針（令和 5 年 2 月）

施行者である東京都に対し、事業化の中止を求める要望書を提出するなど、適切に対応することを表明
令和 5 年度中に、要望書の提出には至らなかった。



令和 6 年度施政方針（令和 6 年 2 月）

施行者である東京都に対し、事業化の中止を求める要望書を提出するなど、適切に対応すること、また、都市計画道路の必要性について、独自に検証することを表明



令和 6 年度

1 次検証（都市計画道路の役割及び機能の観点からの検証）及び 2 次検証（小金井市固有の地域的課題等の観点からの検証）を実施



令和 7 年度施政方針（令和 7 年 1 月 2 8 日）

東京都に対し、2 本の都市計画道路の中止を求めることについて、市の独自検証を終え、総合的判断を基に、令和 6 年度中に要望書を提出するなど、適切に対応することを表明



市長報告（優先整備路線の検証及び総合的判断について）（令和 7 年 2 月 1 7 日）

< 3・4・11 号線 >
本路線は、検証報告書を踏まえると必要性を否定できないが、自然環境保護の観点から課題が残る。このため、環境に対する影響の低減に向けた、橋梁の設計内容について見直しを求める必要がある。
< 3・4・1 号線 >
本路線は、構造による具体的な動植物等への影響が不明のため判断することが困難であるが、国分寺崖線（はけ）への影響が明らかであるため、事業化の手続きは一旦中止することが妥当だと考える。



市長報告の撤回（令和 7 年 3 月 4 日）

環境への影響に係る専門家の見解について、引用するための適切な手続きを欠いており、調整が整っていないため、市長報告を撤回することを表明



「優先整備路線 2 路線問題に係る市政の混乱を踏まえ、白井亨市長に対し、その責任を厳しく問うと同時に、自ら出处進退を明らかにすることを求める決議」を可決（令和 7 年 3 月 6 日）

原稿は議員が作成しています。

定例会・臨時会における審議結果を掲載しています。

https://www.city.koganei.lg.jp/shisei/gikaijimukyoku/teireirinji/reiwa7_gikai/reiwa7_shing/index.html



令和 7 年度 施政方針に対する各会派の見解

自由民主党・信頼の小金井

「はじめに」には、具体的取組の前に市の重要課題等が述べられている。ところが、市立保育園の在り方検討会に関しては一部委員の辞職が伝えられ、新庁舎建設の工事応札は不調に。優先整備路線の検証後の総合的判断の市長報告は撤回と、定例会開催中に市政の混乱状況が見られた。前途多難である。

「環境と都市基盤」では貫井北町の中間処理場が本格稼働、小金井のごみ処理体制が整った。武蔵小金井駅北口再開発は昨年の都市計画決定から7年度は組合設立認可を目指し、無電柱化計画も進む予定。

「地域と経済」では基本構想や地域防災計画で災害に強い安全で安心な都市基盤を目指し、道路は避難、救援、消防活動等に重要な役割を果たすため都市計画道路の整備を推進する事を明記している。都や周辺市と連携し、3・4・11号線を整備すべき。地域経済にも良い影響が考えられる。

「子どもと教育」では出産から親子の関係形成サポートを充実し、市全体の保育の質の向上を図る。きめ細かな学校教育を進めるとともに、第一小学校の校舎改修工事に着手する計画で順調な進捗を望む。

「文化と生涯学習」では継続的平和事業の取組を進め、公民館が地域との連携、他世代が集える地域の拠点となる事業を始める予定。

「福祉と健康」では高齢者の健康維持、特に健康寿命の延伸が大事。第9期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画に則り、関係団体と連携して更なるフレイル対策に取り組むことが望ましい。さらに健康面から分煙環境の整備に努める予定。

「行政運営」については今後の人口減少を見据え市民サービスの向上のため更なるDXの推進、計画的な行政執行、市民活動の拠点である集会施設等の老朽化した設備への早急な対応が必要である。

みらいのこがねい

4つの重要課題についての会派意見を述べる。

①都市計画道路2路線

施政方針では、令和7年3月末に東京都への要望書提出に言及した一方、その内容は示されなかった。その後、公約を一転させ、2月17日の本会議で事実上の整備推進を表明した。しかし、一旦提出した市長報告をわずか2週間で撤回するなど、議会の混乱を招いた市長の責任は重い。

②新庁舎・(仮称) 新宿社会館建設の早期実現

我々は、令和3年11月に本事業が中断する際にも、事業中断は誰のためにもならないと主張してきた。それから約40億円の建設工事費急騰があり、今年2月には工事施工業者の応札がなく入札不調となった。当時、議員の立場で中断を求めた白井市長は、この事実を重く受け止め、入札再公告へ原因分析等を速やかに行い、これ以上まちづくりの停滞を許さない姿勢を貫くべきである。

③保育の質の向上と市立保育園の在り方の検討

市長公約であり、検討のために設置された「在り方検討委員会」で、民間保育園代表委員が辞任に至ったことは大変遺憾である。待機児解消のため、多くの民間事業者の協力を求めてきた経過を踏まえ、公立・民間の枠を超え、市全体の保育の質の向上につながる議論となるよう最大限努力すべきである。

④物価高騰対策

国や東京都に準じるだけで特段の独自政策はなく、市民との約束である4大公約はいずれも果たされていると言い難い。都市計画道路に至っては公約と真逆の判断を行い、市長報告の撤回は前代未聞である。白井市長就任当初から我々が指摘してきた政策提案の熟度の低さと事業構築の在り方の課題が露呈した結果であり、反省と改善を強く求める。

子どもの権利を守る会

市は、違法、無効との判決が確定している市立保育園2園の廃園条例に基づいて、廃園の既成事実化を進めている。「法律による行政」に背を向け、原告のお子さんの入園だけを認めて、他は認めないというコンプライアンス上ありえない対応が続けていることから、さらに多くの保護者から別の訴訟も提起されている。ただちに廃園条例の運用をやめ、委員2人もが辞任した公立保育園の在り方検討委員会も仕切り直すべきである。1月16日に現行案に基づく建設工事の入札を公告したが、どの建設会社からも相手にされず、2月18日に入札は不調、お流れに。不調を踏まえ、階数や床面積の縮減などによりコストダウンを図るべく、また、かねてより市民から指摘されている利便性や安全性に関する事項を是正すべく、速やかに設計の見直しを始めるべきである。常識では考えられないような市長の行政執行により、都道2路線をめぐる市政の混乱、迷走が著しい。環境・保全生態分野の専門家の意見を引用して市長報告を行うに当たり、本人に相談もなく、また本人の許諾もなく、恣意的に意見の結論部分を隠蔽するなどは、行政の長としてあるまじき行為である。発表されたばかりの施政方針に真っ向から反する。



小金井をおもしろくする会

白井市長就任後、市公式LINEアカウントの運用開始、市報リニューアル、中学生や若者の会議、DX推進等、こがおもへの推進する政策が実現している。新年度は市立保育園条例の改正を予定しており、見守りたい。市公式ホームページのリニューアルも予定されており、より市民に届く、分かりやすい広報を通じて、市政を「自分ゴト」化する市民が増え、多様な意見を尊重し合うまちづくりを期待する。

参政党小金井

小金井市の従来からの課題点は財政の健全化。そのためには歳入構造の改革が必要であるが、この施政方針にはその視点の取組み方針が全く言及されていない。「全ての行政経営資源の最大限の活用」とあるが、「資源」そのものを大きくするという姿勢が見られない。また、新型コロナワクチンやガバメントクラウドのような市民のためにならない政策は基礎自治体として反対表明をすべきである。

街の仲間たち

持続可能な地域公共交通ネットワークの構築については、市民のニーズ調査を徹底的に行い、地域の特性や世代等を配慮し、真に市民が必要とする交通計画の策定を強く求める。計画策定を目的とするのではなく、市民が生活していく上で必要な地域交通を検討していくべきである。以前から指摘してきた、グリーンスローモビリティを例に、地域が必要と考え地域が育む地域交通の検討も加速させるべき。



日本共産党小金井市議団

日本共産党の「市民アンケート」では、市民の生活が苦しくなっている現状が浮き彫りとなった。こうした時に国保税を増税し、公民館の有料化を検討するなど、暮らしに冷たい市政運営を見直すことを求める。日本共産党は、物価高騰から市民生活を支援する緊急対策として、電気・ガス・燃料費等への補助、国保税1万円の軽減、低所得者への家賃補助、お米券支給を提案した。新型コロナ対策基金廃止に伴う約5億円の活用など、財源はあり実現を求める。市庁舎等建設は、施工者からの応募がなく入札中止となった。計画の変更が必要である。コストダウンと免震構造で統一、南側に広い広場の設置など市民の声を反映した建設計画に見直すことを求める。市長の公約に対する姿勢は大変遺憾である。公立保育園の廃園撤回は、東京地裁判決で「専決処分は違法・条例は無効」の判決が出たにもかかわらず、原告の児童だけ入所を認めるという行政としてあるまじき対応である。さらに保護者から新たな訴訟が起こされ市長の政治姿勢が問われる。廃園対象園の募集再開を求める。都市計画道路・優先整備路線について、「中止を都に要請」とした公約を撤回する事態となったことは市民を裏切るもので許されない。その市長報告は撤回したが、白井市長の公約に対する責任、市長としての資格が厳しく問われる。

小金井市議会公明党

農業振興に関して、都市農業が「都市にあるべきもの」として定められている一方で毎年多くの農地が失われている。農地を残すための具体策に触れられておらず、更に一歩踏み込んだ施策の展開を望む。

名勝小金井（サクラ）が2024年12月に名勝指定100周年を迎えた。「次の100年に向けて小金井市の魅力をより一層高める取組を推進する」とありながら、今後施策を推進する担当課も決まっていないなど、具体的な方策が全く検討されていないことは残念でならない。シティプロモーションにも資する取組として積極的に検討をいただきたい。

芸術文化振興について触れられていなかった。2011年市民交流センター竣工時に文化協会元会長が「文化は心の福祉」と熱い思いを語られたことを改めて申し上げる。様々な課題がある中であるからこそ、重要な施策の柱として取り組んで頂きたい。

組織体制の強化について、多くの経験豊富な管理職が役職定年を迎える。新たな組織体制を含め、どのような組織運営を図るのか、早期検討を求める。

重要課題として掲げられた「都市計画道路整備の中止を求めること」について、その後、市長報告で述べられた公約を覆す総合的判断は、特に整備中止を求める方々に誤解を招く表現である。市政運営の基本方針を述べる施政方針では正確な表現を求める。

生活者ネットワーク

優先整備路線について、「はけと野川を守り、豊かな暮らしと文化を後世に継承していくために、中止・見直しを都に要望する」ことが白井市長の公約である。「都に要望書を提出する」ことは手段であり目的ではない。市民との約束を果たすことを強く求める。

温室効果ガス排出削減目標の見直しに当たっては、気候危機を命の問題と捉え、2050年ゼロカーボン達成のために必要な高い数値目標の設定を求める。

緑・つながる小金井

重要な視点の1番目に気候危機への今後の更なる対策の検討が入ったことは評価する。気候非常事態宣言をした本市の取組強化を要望する。

“はけと野川をこわす都市計画道路”優先整備2路線について、2024年度中に東京都に要望書を提出するとしていたが、市長報告の撤回により提出しないことになった。課題解決が目的化している様に見受けられるが、適切に対応していくことをを望む。